

荻窪温泉あいのやまの湯の営業自粛について

本市所有で指定管理施設である荻窪温泉あいのやまの湯の営業を自粛しましたので、お知らせします。

1 内容のあらまし

平成30年5月10日、市内の医療機関から尿中抗原検査陽性となり、レジオネラ症患者発生届が前橋市保健所へありました。市保健所で患者調査を実施したところ、標記温泉施設を利用したことが判明したため、5月11日に市保健所によるあいのやまの湯の立入調査（浴槽水等の採水）が行われました。

採水した浴槽水からレジオネラ属菌が5月16日に確認されたため、市保健所から営業自粛の要請があり、公園管理事務所及び指定管理者で協議した結果、営業自粛を決定したものです。

2 関連すると思われる患者情報

70歳代男性 市内在住、現在市内医療機関に入院中

※上記男性は、レジオネラ肺炎を発症していますが、あいのやまの湯で検出されたレジオネラ属菌と同一もの（同一遺伝子）であるかは、現時点で確認できていません。

※現時点で当該患者以外の健康被害の報告はありません。

4月14日 あいのやまの湯利用

4月28日 市内医療機関入院

5月10日 医療機関よりレジオネラ症患者発生届（市保健所あて）

3 休館する施設

施設名称 荻窪公園 温水利用健康づくり施設（愛称：荻窪温泉あいのやまの湯）
前橋市荻窪町530-1

指定管理者 セントラルスポーツ株式会社（東京都中央区）

4 今後の対応

引き続き施設等の調査を行い、発生の原因究明及び衛生の確保が図れるまで、本日から当分の間休館します。

レジオネラ属菌とは？

レジオネラ属菌は水中や土壌中など自然界に広く存在する細菌です。このレジオネラ属菌が、消毒されていない水や、入れ替わりの少ない水、水温 20℃～50℃前後の水に混入した時、増殖するおそれがあると言われていています。特に給水・給湯設備、冷却塔水、循環式浴槽、加湿器、水景施設などでレジオネラ属菌が見つかっています。

感染経路

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染された目に見えないほど細かい水滴(エアロゾル)を吸い込むことで感染します。ヒトからヒトへの感染はありません。

レジオネラ症にはレジオネラ肺炎とポンティアック熱の2つの型があります。

レジオネラ肺炎

- ・症 状：発熱、咳、痰、呼吸困難とともに、頭痛、筋肉痛、下痢、意識障害、精神神経系症状などの呼吸器以外の症状がみられます。重症となった場合、死亡例も報告されています。
- ・潜伏期間：2～10 日（平均4～5 日）程度

ポンティアック熱

- ・症 状：発熱、咳、頭痛、筋肉痛がみられます。呼吸器症状は軽微です。
- ・潜伏期間：1～2 日（平均38 時間）程度

本件に関するお問い合わせ先

【施設管理に関すること】公園管理事務所

電 話 内線 / 6090
直通 / 027-225-2116

【レジオネラ感染症に関すること】保健予防課（保健所内）

電 話 内線 / 84-2216
直通 / 027-220-5779（午後5時15分以降不可）

【レジオネラ属菌検査に関すること】衛生検査課（保健所内）

電 話 内線 / 84-2211、2212
直通 / 027-220-5777（午後5時15分以降不可）